



みなさん
笑顔でゴールを
目指しましょう!

目的とビジョンについて

大津地区は、出雲市が行っている「同和教育研究指定事業」に令和6・7年度に取り組むことになりました。この事業の目的は「部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくし、全ての人々の人権が尊重される社会づくり」となっています。

当協議会は、この事業の成果を上げるために、五つのプロジェクトチーム(総務部、調査部、研修部、啓発部、教育部)を編成し準備を進めています。

この事業により、「子どもたちが、仲良く暮らし、すくすく育つことができる大津」をめざしています。そのために、大人が偏見や差別を許さず、お互いに尊重し合い、支え合って生活している姿を、子どもたちに見せることができる町づくりに、みんなで取り組みましょう。

何のために!
目指すゴールイメージ



出雲商の生徒さん
集計作業の様子

5~6月 <調査部> 活動状況報告

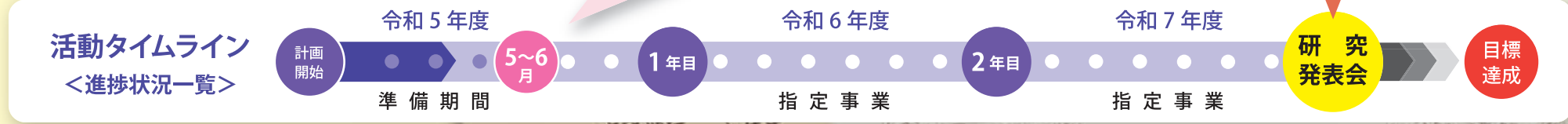
調査部が中心となり、5月から6月にかけて、人権に関するアンケート(意識調査)を行いました。ご協力をいただいた皆さん、ありがとうございました。

意識調査をするに当たり、調査部会を6回開催し、アンケート項目等についての協議、アンケート用紙の印刷、袋詰め、アンケート集計作業など多岐にわたって活動を行ってきました。集計作業については、地元の出雲商業高校の生徒さん(約30名)にも手伝っていただくことができました。「やさしさあふれるまちづくり」をめざしている大津地区としては、このような取組ができたことに大きな意義を感じています。

今後、アンケート結果をもとに、人権に関わる課題を明らかにし、今後の研修及び啓発活動に生かしていく予定です。アンケート結果の概要については、次回の会報でお伝えします。

人権に関するアンケートへの
ご協力ありがとうございました!

会長 **木次 勝義**



11月開催

プロジェクトリーダー達の想い (チャレンジングハート)

総務部

部長 小倉幹夫

今わたしたちが暮らしている大津の町は、優しさにあふれ、一人ひとりが大切にされている町なのではないでしょうか。無意識のうちに誰かを傷つけていることはないでしょうか。今回の指定事業を通して「大津は住みよい、いい町だよ」と子どもたちに自信を持って言える大人になれるよう力を尽くしたいと思います。

調査部

部長 荒瀬幸子

調査部では、さまざまな活動を行ってきましたが、一番苦労したのは集計作業でした。部員さん達に、スマートフォンを片手に一生懸命打ち込み作業をしていただいたお陰で無事集計を終えることができました。今後は、大津地区の課題を考察する作業が残っています。調査部一丸となって最後まで頑張っていきたいと思います。

研修部

部長 藤原靖司

研修部では来年度の指定事業に向けて、学習会、研修会を企画しています。今年度は現在指定を受けている地区の研修会や、県外の先進的な事例を視察し、私たちが学びながら協議を重ねているところです。事業実施の際には是非とも、ご参加いただきますようお願いいたします。

啓発部

部長 堀江泰誠

大津地区には保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校の他、多くの企業や地域の団体が沢山あります。この事業を通して、町民の皆さんと学校や団体が繋がり、関わりながら理解が深まり、興味を持っていただけるようなイベントや広報を通して伝えていこうと思っています。お楽しみに。

教育部

部長 塚田英樹

地区内の保育園、幼稚園、小学校では以前、校長・園長会を実施しておりました。地区指定を受けることを契機に今年より復活することとしました。教育部では、この校長・園長会を軸として相互理解を深めより良い活動を探っていきます。まずは、教育・保育活動を人権・同和教育の視点から見つめ直していきます。